



HP: <https://www.tagawa-kenrou.or.jp>  
E-mail: [tagawa-kenrou@tagawa-kenrou.or.jp](mailto:tagawa-kenrou@tagawa-kenrou.or.jp)

HP



E-mail

発行所

＝ 全建総連加盟 ＝

田川建設労働組合  
教宣文化部

山形県鶴岡市大塚町26-13  
電話 (0235) 22-2832  
FAX (0235) 22-3370



# 新年の御挨拶

執行委員長

和田 吉和

新年明けましておめでとうございます。

組合員、御家族の皆様には、日頃より組合運営、組合活動に対し、深い御理解と力強い御協力を賜り、心より御礼申し上げます。



今年、田川建設労働組合創立七十周年の節目の年を迎えます。(令和七年六月二十九日(日)開催の記念式典に向け準備中です。)

昭和三十一年設立、昭和三十九年十月には第五回全建総連定期大会が、山形県温海中学校講堂にて開催されました。田川建労は重責を担った組合だと確信します。七十年の間、歴代の諸先輩達が築き上げた伝統を引き継ぐと共に、山形県の委員長、全建総連の委員長を輩出した組合を誇りに思い活動をしていきます。

令和六年は、能登半島地震、山形県の七月豪雨、能登半島豪雨と自然災害が発生し、甚大な被害を受けました。田川建労からも、応急仮設木造住宅建設に能登半島に六人、戸沢、鮭川の現場に十二人の大工職人が協力し、完成させました。組合員の皆様には、敬意を表します。

インボイス制度、建築物石綿含有建材調査、労働安全衛生規則に続き、令和七年四月から四号特例が廃止され、全ての新築で省エネ基準適合が義務化されます。それにより建築確認申請には、構造・省エネ関連の図書等、壁量計算等の提出が必要になります。これら全てが、住宅建築の費用に上乗せされます。物価の上昇、資材の高騰が続く高止まり状態、労働者の賃金アップが叫ばれる中、住宅着工に影響しないか懸念されます。

結びになりますが、組合員、御家族の皆様にとって素晴らしい一年でありますと共に御健勝と御活躍を心より御祈念申し上げます。年頭の挨拶と致します。

▲令和六年『つるおか大産業まつり』上棟式の様子



# 全建総連第65回定期大会

賃金・税金対策部長 佐々木 博 良

令和六年十月二十三日から二十五日の三日間、横浜で開催された全国大会に行つて来ました。ひよんなことから前年に引き続きの参加となり、

決算報告、監査報告、第六七五期運動方針案、予算案の提案に続き活発な質疑応答がありました。

靴底の前半分が剥げました。会場の方に白い養生テープを頂き、その場をしのぎ分科会に参加しましたが、ホテルまでの帰路と夜の中華街散策、この靴はどうしたものか！で頭がいっぱいになりました。

た頃には、一万七千歩を超えていました。大会三日目は、各分科会の発表に続き、一日目の質疑を再開、全建総連組合費の令和八年八月二十円引上げについてなど活発な質疑が行われた後、すべての議案が承認されました。役員改選では、中西孝司中央執行委員長・勝野圭司書記長が勇退され、鈴木貴雄新中央執行委員長（全建愛知）・小倉範之新書記長（全建総連）が就任、新体制の全建総連がスタートし、団結ガンバロー等を経て昼前には終了しました。蜘蛛の子を散らす如く皆帰路に就きました。電車を乗り継ぎ羽田空港へ向かい、空港で昼食を済ませて庄内へ。長い三日間がやっと終わりました。

田舎者ゆえ大都会に行く楽しみと不安が入り交じった状態でした。電車で行くはずが豪雨災害により飛行機に変更となり、朝ゆっくりできたのは不幸中の幸いでした。飛行機の離陸時のシートに張り付く加速Gを感じながら羽田空港に向かいました。あの加速感

夜は山形県連の皆で懇親会、みなとみらい周辺の夜景で疲れを癒し、明日に備え早めに就寝。二日目、行列のできるバイキングで朝食を済ませ、いよいよ賃金分科会へ。ホテルから会場まで約二キロ、徒歩にて向かいましたが、日頃、約五キロ、減量の為のウォーキングの賜物か苦でもなく会場に到着しましたが、床のカ

分科会に集中。分科会は、九つの分科会に分かれ、それぞれ議論を深めます。賃金分科会では、各県連組合の活動報告、キャリアアップシステムを活用した賃金アップの取り組みなどについて話し合われました。分科会終了後、他の分科会はすでに終わり前年同様、私人ホテルに帰ることとなり、養生テープを多めに頂き、暫く歩いては張り直しを数回、不自然な歩き方で人目を気にしつつパカパカの靴でアパホテルを目指しました。コンビニで接着剤を買い靴修理。完璧に直った靴で異国情緒に溢れ、独特な香りに包まれた中華街で夕食と買い物満喫し

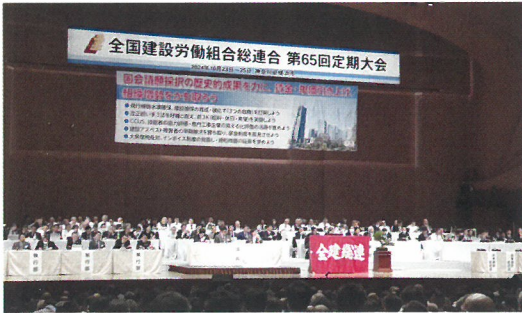
今回の参加で心に残ったのは、各地の仲間も組合員の減少や処遇改善等、同じ様な問題や悩みを試行錯誤で解決を目指していること。賃金問題では『仲間が不利益にならないように』、組織拡大では『知って知らせる組織する』の合言葉を目指して今後の組合活動に活かさればと思った記憶に残る大会でした。

は私のバイクでは三速全開といったところでしょうか。羽田空港に着くと私の嫌いな乗り継ぎ電車、皆に遅れまいと必死でした。やつとのことで到着した会場の「パシフィコ横浜」で全体会議に参加しましたが、一千二百人近くの参加者の中には、私の様に必死の思いで来たお父さん達が何人も居たのでは、とニヤニヤしました。

本題の大会一日目は、来賓挨拶、第六十四期経過報告、

一ペットに躓き靴底が大破、

開催方法について



▲会場の様子

本題の大会一日目は、来賓挨拶、第六十四期経過報告、

開催方法について

開催方法について

## 田川建設労働組合 大会告示

田川建設労働組合第七〇回定期大会を組合規約第八条の規定にもとづき、次のとおり開催します。

執行委員長 和田 吉和

### 日時

令和七年二月二十三日 午前一〇時〇〇分

### 会場

グラウンド エル・サン

### 代議員

令和六年十二月末組合員数で、支部分会毎に十三人に一人（四捨五入）の選出となります。

### 開催方法について

昨年同様の一日日程で開催します。なお、不測の事態の場合は、人数制限、時間短縮となる事もありますのでご了承ください。



# 社保対部 健康管理学習会

社会保障対策部長 白澤 勝 敏

九月二十九日(日)に社保対部主催の健康管理学習会を開催しました。今回は、「ロコモ予防体操」を講師に荻原恵美先生を迎えて行いました。

荻原先生は、現在、鶴岡フィットネス協会の理事長をされ、ロコモ予防体操インストラクターの資格も持ちます。

ロコモとは、足腰の衰えや障害のために、移動機能が低下した状態をいいます。

学習会では、ケガ予防や生活習慣等の疾病予防など健康な生活を維持するために必要な体の動かし方、無理なく行



▲ボールを使った体操の様子

令和六年七月七日、青年部の主催で『ウォーキング&湯野浜海岸清掃』を実施しました。この活動は、ウォーキングを楽しむながら地域貢献を行う事を目的とし、海水浴に訪れる方々が安全に過ごせる環境を整えるためのボランティア活動として企画しました。

当日は、子供から大人まで五十九名の参加がありました。開始前まで小雨が降り続き、実施が危ぶまれる状況でしたが、活動開始と共に雨が止み、無事に予定通り行う事ができました。強風の中での清掃活

うにはどう考えたら良いか等を柔らかいボールを用いて、色々と指導して頂きました。高齢者が気をつけなければならぬ事や一般の方々が注意すること、又、幼児や小学生と一緒に体操するには等々、色々な話を交えながら教えて

## 青年部

## ウォーキング&湯野浜海岸清掃

青年部長 岡部 翼

頂き、有り難く思いました。日曜日の午後のお忙しい中、家族での参加も多く、子供達の参加も嬉しく思えました。高齢の組合員さん向けの学習会になるのではと心配がりましたが、そうではなく皆さんと楽しい時間を過ごさせて頂き、荻原先生、参加して下さいました組合員、御家族の方に感謝申し上げます。ありがとうございました。



▲丁寧にゴミを拾う参加者

機会になった」「日頃は意識しないゴミ問題について考えるきっかけになった」といっ

た声が多く聞かれました。主催者として、皆さんの積極的な取り組みと活動後の笑顔を見られたことが、何よりの喜びでした。今回の活動を通じて、海岸の安全を確保すると共に、環境保全への意識が一層高まったと感じています。この場を借りて、参加して下さいました皆様にも心より感謝申し上げます。今後の地域環境を守る活動を継続し、美しい海岸を次世代に引き継いでいけるよう努めて参ります。

山形県の最低賃金は

**時間額 955円** です

令和6年10月19日改定

最低賃金が、昨年より55円(6.11%)アップしました。

**最低でも月9,240円**(@55×8H×21D)以上。

例えば日当15,000円の方は6.11%**(917円)**アップの**日当15,917円**。月換算、**19,257円**(@917×21D)以上の賃金UPを実現しましょう!

最低賃金とは、働く全ての人に賃金の最低額を保証する制度です。

最低賃金には、精皆勤手当、通勤手当、家族手当、臨時に支払われる賃金及び時間外賃金は算入されません。

詳しくは山形労働局または、労働基準監督署にお問合せ下さい。



# つるおか大産業まつり

住宅・技術対策部長 奥山昌毅

ユネスコ食文化創造都市認定十周年記念つるおか大産業まつりが、令和六年十月十九日(土)・二十日(日)に開催されました。私は以前、前日の建て方応援へ行った事はありませんが、昨年から田川建労の住宅・技術対策部へ配属となり、初めて大産業まつりへ参加させて頂きました。

私達、住宅・技術対策部員は、前日に森とみどりのエリアに上棟式建物を組み立てました。当日の二日間は執行委員の協力を得ながら、住宅相談・輪投げコーナー・木製小箱づくり教室指導・継手材展示・上棟式を行いました。

一日目は、残念ながら雨模様で、小学生以下を対象とした輪投げコーナーへは、来場者が少なく約八十名の参加者で、上棟式は中止として、皆川治鶴岡市長による餅振る舞いを行いました。



▲人気の輪投げコーナー

二日目は天気が良く、輪投げコーナーには約三百二十名の参加者があり、二日間に準備していた四百個の菓子はあっという間に無くなり終了させて頂きました。

今では上棟式も珍しくなくなってきたと聞きます。今回は棟梁が灯明・塩で清め、副棟梁が酒・米・水で清め、最要祓(さいようはらひ)三種祓(さんしゆはらひ)、上棟式祝辞、棟槌(むねつち)の儀を行い、岡部穂鶴岡市農林水産部長、和田吉和執行委員長、私とで餅まきをして上棟式を終了しました。フェスティバルのメインイベントという事で大勢の人が集まり、田川建労のアピールができました。

部員から「上棟式の吹流しの色の順番は？」と話が出ました。五色の意味は古代中国の五行説に基づき、「青」は木を表し東・「赤」は火で南・「黄」は土で中心・「白」は

金で西・「紫」は水で北を守る方位神との関係で、神社で見かける「青・黄・赤・白・紫」の真榊と同じく並べるのが正しい様です。

## 組織対策部 軽スポーツ大会

組織対策部長 佐藤 晃

日頃より、組織対策部の活動にご理解とご協力を頂きありがとうございます。

令和六年度の軽スポーツ大会は当初、大山下池周辺の散策を予定しておりましたが、クマの目撃情報があり危険と判断し、会場を由良海岸・白山島周辺に変更して九月八日(日)に開催致しました。当日は、天気にも恵まれ組合員と家族合わせて二十七名の方に参加していただきました。

最近の危険な暑さを考慮し、開始時間を一時間早め、海岸線をホテル八乙女方向へ進みました。時間が早いこともあり、他の客も少なく、休憩を取りながら歩きました。その後、白山橋を渡り白山島へ向かいました。以前は島を一周出来ましたが、最近は落石の危険がありダイビングスポットの先のあたりまでしか行けなくなりました。白山島

上棟式は、大工にとつて晴れ舞台であり、施主様にとつては一生の思い出となります。費用はかかりますが、大事な建築儀礼だと思います。

の頂上には白山神社の本殿があり、二七〇段の石段を上り頂上へ向かわれた方もおりました。初秋の海辺を散策しながら、良い汗をかけた軽スポーツ大会となりました。



▲ウォーキングを楽しむ参加者

## 編集談話室

新年あけましておめでとうございます。この編集談話室

を書いている十一月も半ば、気温は全国的に急激な冷え込みを見せ、庄内地方一帯を取り囲む月山と鳥海山は白銀の雪化粧姿となりました。

思えば、二〇二四年の秋ほど短く感じる秋はかつて無く、私の知っている日本の四季の移ろいが年々変化しているのだなと感じる日々です。二〇二四年を振り返ると、元日の能登半島地震に始まり、酒田市における記録的豪雨、夏季は日本各地で連日の猛暑など、

多くの自然の脅威に触れる一年となりました。

二〇二五年は大規模な災害が起きぬようにと私も願っています。万が一の時のために、日頃から家族や職場で避難経路、連絡手段等を話し合い、食品や日用品も十分な備えを常におきたいものです。日常生活においても仕事においても、無病息災ほどありません。

今年度の田川建労組合員の皆様のご無事と益々のご活躍をお祈り申し上げます。本年もどうぞよろしくお祈り致します。

(記・教宣部 本間 吉紀)